北海道

海外駐在員現地レポート・北洋銀行バンコク駐在員事務所（2022.12）

報告者：副所長　青谷　祐介

（件名）タイ国際航空「新千歳－バンコク」線の運航再開を記念した訪問団の来泰について

2022 年 12 月からタイ国際航空による「新千歳－バンコク」線の運航が再開されたことに伴い、浦本副知事を団長とし新千歳空港国際化推進協議会により結成された訪問団が 12 月 18 日（日）～21 日（水）にかけて来泰し、タイ政府機関や航空会社、旅行会社等を訪問しました。

１．タイ人の来道状況

タイ国際航空による「新千歳－バンコク」線は、2012 年 10 月から定期便の運航がスタートしており、コロナ前の 2018 年には年間で約 23 万人のタイ人が来道していました。コロナ禍の影響により 2020 年 3 月から運航がストップしていましたが、今回およそ 2 年 9 か月ぶりに再開しました。

【来道外国人数の推移】　（単位：人）

	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
来道外国人総数	1,541,300	2,080,000	2,301,000	2,792,100	3,115,000	2,442,000
うちタイ人 （構成比）	128,300 (8.3%)	155,200 (7.5%)	168,700 (7.3%)	159,400 (5.7%)	235,200 (7.5%)	210,600 (8.6%)

※出典：北海道経済部観光局

また、DBJ（日本政策投資銀行）と JTBF（日本交通公社）が 2022 年に実施した共同調査によると、北海道はタイ人が最も訪れたい観光地となっており、美味しい食事や豊かな景色が体験できる北海道はタイ人にとって憧れの場所となっています。そのため「新千歳－バンコク」線の運航はタイからのインバウンドの確保にとって非常に重要であり、観光や物流などの観点から北海道経済の活性化に繋がる要因のひとつであると考えられます。

【日本の観光地への訪問意欲（観光地別ランキング）】　（調査対象者：タイ人 508 名　複数回答あり）

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
地域	北海道	富士山	東京	京都	大阪
割合	45%	44%	44%	32%	32%

※出典：DBJ・JTBF「アジア・欧米豪 北海道観光に関する訪日外国人旅行者の意向調査(2022 年 3 月)」より上位 5 地域を抜粋

２．訪問結果

訪問団は、訪問先各所において、運航再開を契機として、今後の交流促進に向けた意見交換を行うとともに、北海道の四季折々の観光 PR 等を実施しました。

タイ国際航空では、「新千歳－バンコク」線の運航再開への御礼をお伝えするとともに、来年夏ダイヤ以降の継続した運航に向けて、関係機関と連携しながら双方向の需要創出に取り組んでいくことや、受入体制の強化に向けて、地上支援業務（グランドハンドリング）の人材確保に向けて航空会社、関係事業者等と連携しながら取り組んでいくなど、今後の取組方針等を協議しました。

また、タイ国政府観光庁では、タイ人に対する冬シーズン以外の北海道の魅力発信や、厳しい冬に道民が温暖な気候を楽しむためのタイ観光 PR 等について協議するなど、引き続き、双方向の需要創出に向けて、協力して取り組んでいくことを確認しました。

報告者：副所長　青谷　祐介

そのほか、訪問先各所において、北海道とタイのさらなる交流発展に向けて、最新の観光需要や経済動向について意見交換が実施されました。

タイ国際航空への訪問の様子
（写真左：タイ国際航空　写真右：訪問団）

タイ国政府観光庁への訪問の様子
（写真左：訪問団　写真右：タイ政府観光庁）

３．所感

今回、訪問団に随行し各所を訪れる中で、タイ人の北海道旅行需要は高く、タイ人が北海道の気候や景色、食、温泉、文化、スポーツ、アクティビティ、買い物などのさまざまな体験に魅力を感じていることを改めて実感することができました。コロナ禍の反動により旅行需要が高まっている中、「新千歳－バンコク」便の再開はインバウンドの増加に一層拍車をかけることになり、これが夏冬両ダイヤの通年運航になれば北海道経済にとってますますプラスとなると思われます。

一方で、タイで観光に携わっている機関や事業者は、タイ人の北海道旅行のみならず、より多くの北海道民のタイ旅行を望んでいます。従来タイ観光では、「食事・酒・ナイトライフ」といった安価で楽しめる体験を目的とする旅行者が多く、オーバーツーリズムも問題視されていましたが、近年タイ政府は高品質で付加価値の高いタイ旅行を推進していく方針を示しており、観光地や宿泊施設の整備などの受入体制の強化準備を着々と進めています。お寺巡り、マリンアクティビティ、ガストロノミー、冬期間のゴルフなどタイならではのラグジュアリーな観光スタイルを体験してみてはいかがでしょうか。